



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9220
 四半期報告書提出予定日 2021年10月13日 配当支払開始予定日 2021年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	13,366	17.8	923	820.0	1,163	—	1,359	—
2021年2月期第2四半期	11,348	△16.2	100	△84.5	58	△92.1	△90	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 1,900百万円（—%） 2021年2月期第2四半期 △299百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	144.92	—
2021年2月期第2四半期	△9.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	27,337	19,812	63.6	1,853.02
2021年2月期	27,707	18,163	57.4	1,695.81

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 17,381百万円 2021年2月期 15,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2022年2月期	—	20.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,870	9.8	1,560	85.2	1,900	84.6	1,670	222.5	178.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	9,696,500株	2021年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	316,570株	2021年2月期	321,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	9,377,118株	2021年2月期2Q	9,601,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2021年10月18日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 製品およびサービスに関する情報	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、度重なる緊急事態宣言の発出により個人消費は一進一退の状況で推移したものの、外需の回復に支えられ、企業の生産活動は堅調に推移しました。海外では、中国に引き続き先進国においても経済は正常化に向かいつつあります。その一方で、ワクチン普及に遅れがみられる東南アジア諸国においては、新型コロナウイルス感染症拡大を抑えられない状況が経済活動の足かせとなり、それはまたグローバル規模でのサプライチェーン停滞の一因となっております。また、半導体不足による自動車の減産、原材料価格の上昇等が製造業の収益を圧迫しつつあります。

このような状況のもと当社グループにおいては、各国での自動車生産の回復を背景に、売上高は13,366百万円（前年同期比17.8%増）となり、営業利益は923百万円（前年同期比820.0%増）、更には為替が差益に転じたことにより経常利益は1,163百万円（前年同期は58百万円の利益）となりました。また、賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,359百万円（前年同期は90百万円の純損失）となりました。セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①日本

(特殊潤滑油)

国内自動車生産は半導体の供給不足が足かせとなったものの回復基調で推移しました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しましたが、その中でも顧客での生産性向上に資する少量塗布型ダイカスト離型剤や新規拡販に注力している切削油剤の売上が順調に推移しました。

(合成潤滑油)

国内自動車生産の回復と旺盛な中国需要を背景に、グリース基油用途での高温用潤滑油が増収となりました。一方、ハードディスク表面潤滑剤については、中期的にはデータセンター用途でのHDD（ハードディスクドライブ）需要の増加が見込まれるものの、足元ではローカルストレージ分野でのSSD（ソリッドステートドライブ）への置換の影響を受け、減収となりました。

(素材)

流動パラフィン、ポリスチレン可塑剤および化粧品用途が増収となった一方で、採算性を踏まえて一部取引の見直しを行ったことにより減収となりました。

金属加工油の添加剤として使用されるスルホネートは、国内自動車生産の回復により増収となりました。

(ホットメルト接着剤)

自動車内装用途、フィルター用途は増収となった一方で、主力の衛生材用途が前年同期比微減で推移したことにより、全体では前年同期並みの売上となりました。

(エネルギーデバイス材料)

有機EL用封止材の輸出とガス・水蒸気透過度測定装置の販売および受託分析が好調に推移したことにより増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9,782百万円（前年同期比15.4%増）となり、セグメント利益は558百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

②中国

いち早く経済の立て直しを果たした中国においては、自動車生産は一昨年の実績を超える水準で推移しました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しました。注力製品である少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販も順調に推移しました。ホットメルト接着剤についても、フィルター用途および自動車内装用途が好調に推移したことにより増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,843百万円（前年同期比41.6%増）となり、セグメント利益は235百万円（前年同期比180.7%増）となりました。

③東南／南アジア

他の地域に比べ経済回復に遅れがみられる当地域についても、前年同期からの反動で自動車生産が大幅に増加したことにより、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は増収となりました。一方、ホットメルト接着剤は顧客工場での操業制限の影響を受け減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,326百万円（前年同期比24.6%増）となり、セグメント利益は63百万円（前年同期比409.4%増）となりました。

④北米

他の地域と同様に自動車生産が増加したことによりダイカスト用油剤等特殊潤滑油は増収となりました。注力製品である少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販も順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は439百万円（前年同期比55.9%増）となり、セグメント利益は76百万円（前年同期比411.6%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上期の連結業績は、各国での自動車生産の回復を背景に、2021年4月13日に公表した業績予想を上回るペースで進捗しました。一方先行きについては、半導体不足による自動車の減産や原材料価格の上昇等が懸念材料であると認識しております。以上を勘案し、2022年2月期通期連結業績予想を修正いたします。詳細については、本日（2021年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,108	3,988
受取手形及び売掛金	6,643	6,337
商品及び製品	2,524	2,686
原材料及び貯蔵品	1,718	2,183
その他	338	436
貸倒引当金	△27	△23
流動資産合計	15,304	15,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,552	3,335
機械装置及び運搬具(純額)	1,804	1,698
土地	2,422	1,952
その他(純額)	741	858
有形固定資産合計	8,518	7,842
無形固定資産		
のれん	347	283
その他	445	423
無形固定資産合計	792	706
投資その他の資産	3,093	3,182
固定資産合計	12,403	11,730
資産合計	27,707	27,337
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,975	3,762
短期借入金	2,544	566
未払法人税等	109	582
賞与引当金	441	506
その他	1,052	977
流動負債合計	8,121	6,393
固定負債		
長期借入金	775	545
退職給付に係る負債	494	507
その他	155	80
固定負債合計	1,424	1,132
負債合計	9,545	7,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,976	1,976
利益剰余金	12,132	13,256
自己株式	△390	△384
株主資本合計	15,836	16,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	33
為替換算調整勘定	△117	228
退職給付に係る調整累計額	152	154
その他の包括利益累計額合計	63	415
非支配株主持分	2,264	2,431
純資産合計	18,163	19,812
負債純資産合計	27,707	27,337

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	11,348	13,366
売上原価	7,812	8,822
売上総利益	3,536	4,544
販売費及び一般管理費	3,436	3,621
営業利益	100	923
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	10	10
為替差益	—	107
持分法による投資利益	70	90
その他	23	31
営業外収益合計	118	249
営業外費用		
支払利息	7	4
為替差損	137	—
その他	16	5
営業外費用合計	161	9
経常利益	58	1,163
特別利益		
固定資産売却益	—	833
特別利益合計	—	833
税金等調整前四半期純利益	58	1,996
法人税、住民税及び事業税	115	655
法人税等調整額	△16	△128
法人税等合計	99	527
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41	1,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	110
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90	1,359

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41	1,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	9
為替換算調整勘定	△257	391
退職給付に係る調整額	9	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	29
その他の包括利益合計	△258	431
四半期包括利益	△299	1,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△289	1,712
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	58	1,996
減価償却費	652	590
持分法による投資損益(△は益)	△70	△90
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△838
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△17	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	63
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△4
受取利息及び受取配当金	△24	△22
支払利息	7	4
売上債権の増減額(△は増加)	1,359	448
たな卸資産の増減額(△は増加)	160	△544
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,155	△283
未払消費税等の増減額(△は減少)	△89	△12
その他	△54	△7
小計	819	1,285
利息及び配当金の受取額	93	226
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△210	△179
営業活動によるキャッシュ・フロー	696	1,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△15
有形固定資産の取得による支出	△250	△378
有形固定資産の売却による収入	3	1,505
無形固定資産の取得による支出	△15	△29
投資有価証券の取得による支出	△51	△6
貸付金の純増減額(△は増加)	0	0
その他	△5	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	891	△1,976
長期借入金の返済による支出	△414	△239
配当金の支払額	△239	△235
非支配株主への配当金の支払額	△39	△38
その他	△46	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	152	△2,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	554	△147
現金及び現金同等物の期首残高	3,213	3,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,767	3,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,029	1,189	1,857	274	11,348	—	11,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	446	113	10	8	577	△577	—
計	8,475	1,302	1,867	282	11,925	△577	11,348
セグメント利益又は損 失(△)	△8	84	12	15	103	△3	100

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額△2百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,053	1,677	2,205	432	13,366	—	13,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	730	166	121	8	1,024	△1,024	—
計	9,782	1,843	2,326	439	14,390	△1,024	13,366
セグメント利益	558	235	63	76	932	△9	923

(注) 1. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去8百万円、たな卸資産の調整額△16百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	13,358	118.0%
特殊潤滑油	6,341	136.5%
合成潤滑油	1,033	112.6%
素材	1,672	96.1%
ホットメルト接着剤	3,325	100.7%
エネルギーデバイス材料	128	302.2%
その他	859	127.3%
賃貸ビル事業	8	31.7%
合計	13,366	117.8%

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	4,573	506	69	5,147
II. 連結売上高(百万円)				13,366
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.2%	3.8%	0.5%	38.5%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。